

岸和田市図書館友の会 詩の教室 公開講座

「詩と小説の間(あわい)」

2026年7月5日(日)午後1時30分～4時

岸和田市立図書館(本館)3階 視聴覚室で

講師 倉橋 健一(詩人・文芸評論家)



井上靖は作家として著名な人ですが、もともとは詩人で小野十三郎や安西冬衛とも親交があり、その結晶体が、この詩集『北国』です。読んでもらったらわかるとおり、たとえば詩集中の「猟銃」という作品はそのまま小説に転用されています。そこにある孤独と寂寥のテーマも引き継がれているといっってよいでしょう。

その上に、この詩集では散文詩が多く、また比良など関西人にお馴染みの風景も読み込まれています。

ともあれ、今回は詩人井上靖をじっくり読むことにしましょう。

講演後、作品合評を行います

ご希望の方は当日ご自身の作品をお持ちください

今、私たちが取り組んでいる現代詩というのは口語自由詩であってフォーム(型)においても何の制限もありません。あえていえばありふれた毎日のくり返しに過ぎない日常にあってたえず新鮮であるために、詩はあるといっってよいでしょう。その点、お気軽に。とりあえずは私たちの語りあう現場にどうぞおいでください。

参加無料・定員30名

6月5日(金)～図書館本館へ

☎072-422-2142 または QRコードから

お申し込みください



主催: 図書館友の会 詩の教室 【共催】岸和田市立図書館